

周産期医療協議会・災害対策部会
令和4年度事業実施結果及び令和5年度事業計画（案）

1 令和4年度事業実施結果

(1) 災害対策部会の開催

- 開催日 令和5年1月12日（木）午後7時から（オンライン開催）
○内容 1）小児周産期リエゾンの養成について
2）小児周産期リエゾン災害訓練について
3）徳島県周産期災害対策マニュアルの改訂について

<決定事項>

1) について

現在県内にリエゾンは計20名、内、徳島大学病院の所属が15名
新型コロナ陽性妊婦の入院調整を、リエゾンが県入院調整本部に出向き
実施した経験からも、発災時に県に人員派遣が可能な大学にリエゾンを充実させる

2) について

参集訓練の機会を、リエゾンの情報交換の機会とする等、
今後の訓練のあり方について、次年度の部会で検討する
2/5の訓練のシナリオをR4リエゾン研修受講者が作成する

3) について

大規模災害対策情報システムの入力手順をマニュアルの別冊とする

(2) 災害への備えに関する各種調査

1) 業務継続計画（BCP）策定状況調査

<目的>

BCPの策定は、R2.4に総合・地域周産期母子医療センターの指定要件として
追加されていることから、県内の実情を把握する

- 対象 総合・地域周産期医療センター（4カ所）
○内容 アンケート調査（項目：作成の有無、計画策定への
周産期センターの医師等の関与、計画内容の周知徹底 等）
○結果 全施設で策定済みであった

<今後>

周産期の実態に即した内容の充実を図る

2) 備蓄状況調査

<目的>

災害対策マニュアルに記載の各医療機関の備蓄状況等を調査することで、
現状の把握及び各医療機関における点検の機会とする

- 対象 県内全産婦人科医療機関
○内容と結果 資料3-2 19医療機関より回答あり

<今後>

各医療機関において災害への取り組みや工夫を参考に再点検いただく

(3) 小児周産期リエゾン災害訓練

1) 参集訓練

○開催日時 令和5年2月5日(日)午後10時から正午まで

場所 徳島大学病院 日垂メディカルホール

○参加者 災害対策部会委員・小児周産期リエゾン 計18名

○結果 資料3-3

2) 「大規模災害対策情報システム」への被災応需状況の入力訓練

○概要 発災時にシステムを活用した搬送や施設運用を実施できるよう

事前に送付した被災想定に基づき参集訓練日に合わせ、入力訓練を実施

○結果 資料3-4

(4) 小児周産期リエゾン研修の受講 資料3-5

・3名(大学病院:産婦人科医2名・小児科医1名)が修了(オンライン・現地研修)

(5) その他

・「防災ノート～赤ちゃんとママを守るために～」等活用した普及啓発の推進

2 令和5年度事業計画(案)

(1) 災害対策部会・訓練の開催

○開催回数 年2回程度

○内容

【部会】

・リエゾン災害訓練の内容について

・徳島県周産期災害対策マニュアルの改訂について

【訓練及びリエゾンの情報交換の機会】

・県内産科医療機関の災害システム入力訓練

・災害対策本部立ち上げ訓練

※県及び全国単位で実施される災害訓練があれば参画を検討

(2) 小児周産期リエゾン研修の受講

・2名分(現地開催)の予算要求中

(3) その他

・「防災ノート～赤ちゃんとママを守るために～」の更新及び普及啓発等の推進

医療機関名	Q1 県周産期災害対策マニュアルをみたことがあるか	Q2 備蓄状況							Q3 災害への取り組み	
		分娩セット 帝王切開セット 予備	分娩時に 使用可能な水	非常食	飲料水	粉ミルク (アレルギー用含む)	紙おむつ	その他の備蓄物 <自由記載>		
周産母子センター	徳島大学病院	ある	正常分娩 10セット 帝王切開 1セット	有	500人分 3日分	500人分3日分	300g×6缶	50枚 3日分	ベビー用の毛布	災害シュミレーション (NICU・GCU合同) 災害グッズ定期点検
	徳島市民病院	ある	正常分娩 2セット 帝王切開 5セット	有	病院として 7日分	病院として 7日分	300g×12缶	50枚以上	ドップラー、紙コップ、おしりふき、新生児蘇生セットなど適量	病院全体としての訓練のみ
	徳島県立中央病院	ある	正常分娩 5セット 帝王切開 2セット	無	全患者用	ミルク用 500ml×24本	はぐくみ 300g×36缶 MAI 2箱 低体重児用 2箱	無	ミルク用使い捨てボトル (80ml) 480個×2箱 乳首2種類100個入り各1箱 搾乳ポンプセット40セット	徳島大学病院との合同災害訓練
	徳島赤十字病院	ある	正常分娩 2セット 帝王切開 5セット	病院として 7日分	病院として 7日分	病院として 7日分	100ml×10本 2箱	36枚×2パック	レスキューママ各コットに1つずつ、ドップラー、紙コップ、おしりふき、新生児蘇生セット、ケイツーシロップ10回分、新生児用肌着	産後1日目に避難、レスキューママの使用について説明している。
分娩あり	蕙愛 レディースクリニック	ある	正常分娩 1セット 帝王切開 1セット	500ml×10本	乾パン 羊羹 アルファ米	500ml×36本	5缶 アレルギー用1缶	36枚×3	その他、別紙参照	液体ミルクはぐくみ (100ml×5) ×2パック
	祖川産婦人科クリニック	ある	20セット	1人2食として 20日分	1人3食として 7日分	1人2食として 20日分	新生児5人として 7日分	新生児5人として 20日分	毛布 (新生児用) 新生児用肌着	
	徳島鳴門病院	ない	正常分娩 9セット 帝王切開 3セット	3日分	3日分	3日分	液体ミルク 250ml×96	3日分		
	中山産婦人科	ある	正常分娩 10セット 帝王切開 5セット	2日分	2日分	2日分	10日分	10日分		
	遠藤産婦人科	ある	正常分娩4セット	500ml×60本	3日分	3日分	3日分	3日分	5人程度の入院 (母と児) がいたとして、通常使う分として2セット、災害用ではなく常に使っています。	
	吉野川医療センター	ある	3セット	飲料用を流用する	5日分	5日分	8缶	48人分	水は地下水を使っているため備蓄量が多い	
	阿南医療センター	ある	有	有	有	有	有	有		
	徳島県立海部病院	ある	正常分娩2セット	2セット	4日分	4日分	7日分 アレルギー用無	7日分		
	つぎ町立半田病院	なし	正常分娩 8セット 帝王切開 3セット	500ml×10本	長期保存食料 約600食 アルファ米300食	500ml×1000本	6缶	36枚×12包以上		妊婦、新生児、乳児においては健康状態の維持はもちろん、感染症予防のための保清用品、ミルクやおむつの継続的な供給が欠かせない。普段は買えるものも災害時には不足するので、出入りの業者に特別な供給体制での提供の約束を取り付けておく、また可能であれば、行政を通じて生産業者ないし販売業者との協定を結び、より安定した供給が受けられるようにしておく。
分娩なし	なかたに産婦人科	ある	無	無	無	無	無	無	現在外来診療のみ。入院不可。	
	春名産婦人科	ある	無	無	無	無	無	無		
	山城レディースクリニック	ある	無	無	無	無	無	無		特にありません
	レディースクリニック 兼松産婦人科	なし	無	無	無	無	無	無	R元年度より無床診療所	
	木下産婦人科内科医院	ある	無	無	3日分	2食×12本	無	無	タオル、ティッシュ、ぬれタオル、 アルミブランケット (5人分)、 非飲料水 (2食×12本) ×10	
	西条産婦人科	ある	無	無	3日分	有	無	12パック	寝具のリース契約はしていない。	
	ルナウィメンズクリニック	ある	無	無	1日分	1日分	無	無		外来のみのクリニックですので、発災時の避難場所等の確認をしています

1 小児周産期リエゾンの役割や
県の発災時の体制についてレクチャー



2 本部の立ち上げ・役割分担・物品の確認



3 組織体系図をどこでもシートで壁に配置
役割の明確化



4 PEACEシステムに入力された
医療機関の被災状況を落とし込み

圏域	産科医療機関	MFCU	NICU	GCU	住所	電話番号
東部	徳島市立病院 産婦人科	-	5	11	北三島町2丁目	089-622-5121
	徳島大学病院 産婦人科	-	5	11	藍本町2丁目	089-631-3111
	徳島県立総合病院 産婦人科	-	5	11	藍本町1丁目	089-631-7151
	徳島赤十字病院 産婦人科	-	5	11	小松島町	0893-32-2535
西部	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201
	徳島市立病院 産科医療機関				徳島市	089-653-1201

5 **リエゾンLINE**に指令が入る
→クロノロに情報の日時・発受信者・内容・結果を整理
→妊婦の週数・症状、病院の被災状況・空床に応じて搬送先決定

日時	発信	受信	内容	備考
11:23	半田	県	29週 1m 切迫早産 2-3分緊満、出血⊕ リトリン、20ml点滴 EPRW 1800g 3以内午配希望	(スミ)
11:28	県	大分 半田	搬送手配可	



- 【シナリオ・産科症例】
- 1) 安静のための入院が必要な症例
 - 2) 分娩のための入院が必要な症例(救急隊から)
 - 3) 緊急帝王切開のための入院が必要な症例
- 【シナリオ・小児症例】
- 1) 医師不在のクリニックの新生児について、ライフラインの途絶により今後の管理対応相談

(新) **衛生携帯電話通信訓練**を実施
徳島大学病院⇄県
衛星電話間の通話を確認

<まとめ> 訓練後の振り返りでの意見

- リエゾンの情報共有ツールである【LINEグループ】を用途別に整理すること
- 訓練をファシリテートする立場の養成
- 地震以外の災害(浸水等)を想定した訓練や病院訓練等との合同実施について
- 引き続き在宅小児医療の症例等も訓練に含め小児科医に参画いただく 等

令和4年度小児周産期リエゾン災害訓練 日本産科婦人科学会 大規模災害対策情報システム PEACE 入力

1 システムについて

緊急・災害時において、複数の産婦人科施設が被災した場合、各医療機関の周産期医療情報を各施設が公開し、他施設の被災状況を情報共有し、搬送の可否や施設運用に必要な情報を随時更新することで、近隣施設や全国規模の支援要請に活用できるインターネット上の情報共有システムです。

2 訓練方法

- ・システムのログイン方法(IDとパスワードを再確認)ください
- ・ログイン後、4 各医療機関の被災想定に沿って入力ください
- ・各医療機関の参集状況等あらゆるケースを想定の上職員間で入力操作の訓練を実施ください

3 システム入力方法等について

- ・同封の入力マニュアル(日本産科婦人科学会HPより抜粋)をご参照ください
- ・日本産科婦人科学会のホームページ上には、入力マニュアルや入力方法の説明動画が公開されています

○日本産科婦人科学会ホームページ

https://www.jsog.or.jp/modules/disaster/index.php?content_id=1

○PEACE入力方法 動画

https://www.jsog.or.jp/modules/disaster/index.php?content_id=5



4 各医療機関 入力被災想定について

■各医療機関の被災想定

	医療機関名	被災状況(施設・ライフライン)	分娩取扱い／帝王切開／外来診療	搬送
東部	徳島大学病院		分娩取扱い可／帝王切開可／外来診療不可	母体可・新生児可
	徳島県立中央病院		分娩取扱い可／帝王切開可／外来診療不可	母体可
	徳島市民病院		分娩取扱い可／帝王切開可／外来診療不可	母体可
	徳島県鳴門病院	軽度損壊、ライフラインダメージ	分娩取扱い可／帝王切開不可／外来診療不可	
	吉野川医療センター	軽度損壊、ライフラインダメージ	分娩取扱い可／帝王切開不可／外来診療可	
南部	徳島赤十字病院	浸水、ライフラインダメージ	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療不可	
	阿南医療センター	浸水、ライフラインダメージ	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療不可	
	徳島県立海部病院	浸水、ライフラインダメージ	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療不可	
西部	つるぎ町半田病院		分娩取扱い可／帝王切開可／外来診療可	母体可
東部	恵愛レディースクリニック	軽度損壊、浸水	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療不可	
	祖川産婦人科クリニック	軽度損壊	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療可	
	中山産婦人科	軽度損壊、断水	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療可	
	遠藤産婦人科	軽度損壊、断水	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療可	
	なかたに産婦人科	軽度損壊、断水	分娩取扱い不可／帝王切開不可／外来診療不可	

5 入力実績

令和元年度：17医療機関中14医療機関が正確に入力を実施
 令和2年度：16医療機関中10医療機関が正確に入力を実施
 令和3年度：15医療機関中15医療機関が正確に入力を実施されていました

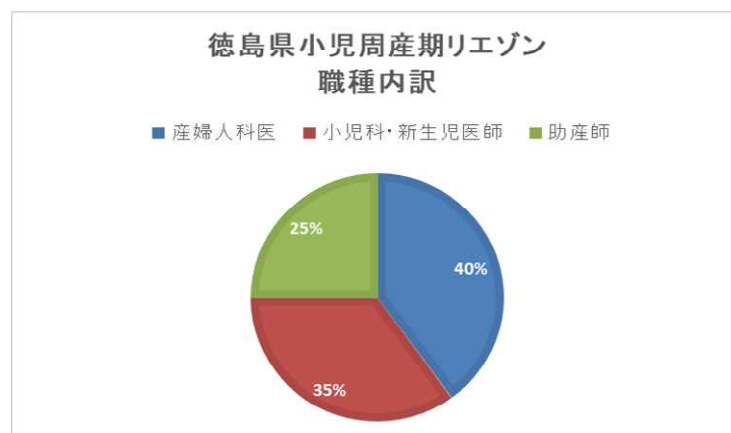
★令和4年度実績
 分娩取扱いのある施設(休止中以外)
 全13医療機関全てが入力訓練に参加のうえ
 正確に入力を実施いただきました

南海トラフ地震等災害発生の確率が高まる中、1年に1回の訓練の機会にご協力のほどお願いいたします。

令和4年徳島県災害時小児周産期リエゾン 名簿

	登録病院名 (現所属)	所属	職種	氏名	*養成研修 受講年度
1	徳島大学病院	産科婦人科	産婦人科医師	加地 剛	平成28年度
2	徳島大学病院	小児科	小児科・新生児医師	中川 竜二	平成28年度
3	徳島大学病院 (徳島県立中央病院)	産科婦人科	産婦人科医師	米谷 直人	平成29年度
4	徳島大学病院	小児科	小児科・新生児医師	須賀 健一	平成29年度
5	徳島大学病院	看護部(副看護部長)	助産師	上田 美香	平成29年度
6	徳島大学病院	小児科	小児科・新生児医師	漆原 真樹	平成30年度
7	徳島大学病院	周産母子センター	助産師	三木 香織	平成30年度
8	徳島大学病院 (祖川産婦人科クリニック)	産科婦人科	産婦人科医師	祖川 英至	令和元年度
9	徳島市民病院 (徳島大学病院)	小児科	小児科・新生児医師	鈴江 真史	令和元年度
10	徳島県立中央病院 (吉野川医療センター)	産科婦人科	産婦人科医師	三谷 龍史	令和2年度
11	徳島大学病院	産科婦人科	産婦人科医師	吉田 あつ子	令和2年度
12	徳島大学病院	小児医療センター	助産師	大西 真理子	令和2年度
13	徳島大学病院	周産母子センター	助産師	橋本 綾	令和2年度
14	徳島大学病院	産科婦人科	産婦人科医師	岩佐 武	令和3年度
15	徳島県立中央病院	小児科	小児科・新生児医師	市原 裕子	令和3年度
16	徳島大学病院	外科	小児外科医師	石橋 広樹	令和3年度
17	徳島大学病院	周産母子センター	助産師	田中 章子	令和3年度
18	徳島大学病院	産婦人科	産婦人科医師	白河 綾	令和4年度
19	徳島大学病院	産婦人科	産婦人科医師	峯田 あゆか	令和4年度
20	徳島大学病院	小児科	小児科医師	森 達夫	令和4年度

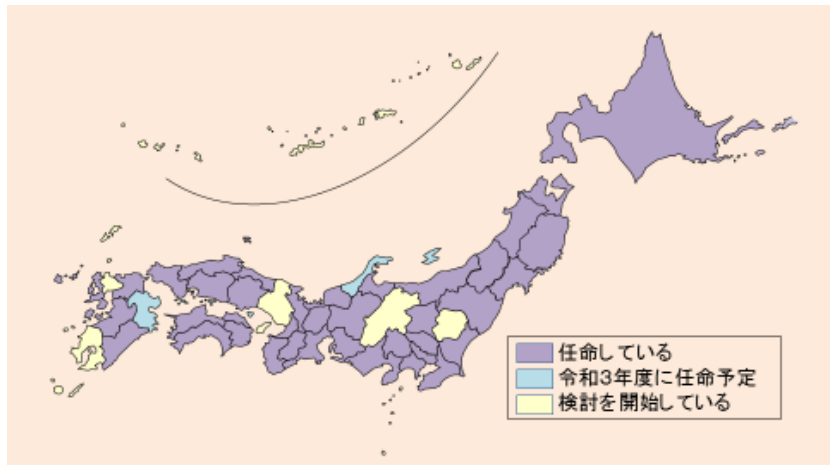
*養成研修：厚生労働省医政局「災害時小児周産期リエゾン養成研修」



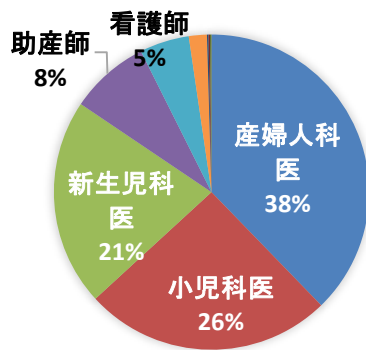
災害時小児周産期リエゾンの任命状況

- 災害時小児周産期リエゾンは、39自治体(83%)で、計587名が任命されている。
- 86%が医師(うち産婦人科医44%、小児科医46%)で主に周産期母子医療センターに所属している。

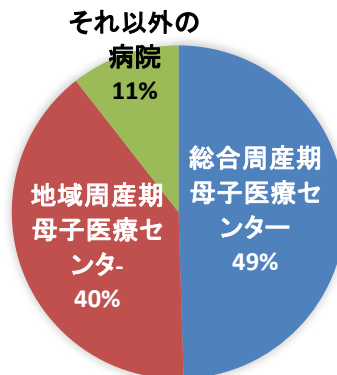
＜災害時小児周産期リエゾンの任命状況＞



＜職種＞



＜所属＞



＜各都道府県における任命人数＞

都道府県	任命者数	都道府県	任命者数
北海道	10	滋賀	12
青森	16	京都	18
岩手	17	大阪	24
宮城	13	兵庫	0
秋田	4	奈良	2
山形	18	和歌山	13
福島	6	鳥取	8
茨城	20	島根	15
栃木	0	岡山	19
群馬	15	広島	13
埼玉	22	山口	11
千葉	10	徳島	12
東京	30	香川	15
神奈川	26	愛媛	27
新潟	15	高知	12
富山	16	福岡	18
石川	0	佐賀	0
福井	6	長崎	13
山梨	17	熊本	9
長野	0	大分	0
岐阜	19	宮崎	17
静岡	16	鹿児島	0
愛知	13	沖縄	0
三重	20	合計	587